



871B334A10

# Q CELLS

## 住宅用太陽光発電システム カラーモニター用

### 個別電力計測用電流センサー

形名

PV-DC06J1-HQ (1個追加用)

PV-DC06J2-HQ (2個追加用)

## 据付工事説明書

## 販売店様・工事店様用

この個別電力計測用電流センサー（以下、電流センサー）は住宅用太陽光発電システム カラーモニター（形名：HQ-D-M06）で分岐ブレーカーの個別消費電力を計測する場合に使用します。

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
- 据付工事の前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。
- お客様自身での工事は、故障や事故の原因になります。据付工事は、必ず、第二種電気工事士の資格を有する販売店様・工事店様が行ってください。
- この据付工事説明書に記載されていない方法で工事された場合、また当社指定部品を使用せず工事された場合に生じた故障や事故については責任を負いかねます。

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 分解禁止	<b>分解・改造をしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。
 水ぬれ禁止	<b>製品に水をつけたり、水をかけたりしない</b> ショート・感電の原因になります。
 接触禁止	<b>配線途中の電線や端子の充電部を素手で触らない</b> 感電の原因になります。
 禁止	<b>本製品を住宅用太陽光発電システム以外に使用しない</b> 火災・けがの原因になります。

 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	<b>同梱部品以外は使用しない</b> 故障の原因になります。 <b>直接炎のあたる場所や油煙、有機溶剤のある場所には据付けない</b> 火災、変質、変形の原因になります。
 浴室での使用禁止	<b>浴室など湿気の多い場所には据付けない</b> 感電および故障の原因になります。
 指示に従い必ず行う	<b>配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う</b> 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

**お願い** 守られない場合は製品故障の原因になります。

- 屋外または車庫、納屋など、屋外環境に近い場所には据付けないでください。
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質などが存在する場所には据付けないでください。
- 電気配線が高温部分に触れないようにしてください。 ● 電気配線が鋭い角部に触れないようにしてください。

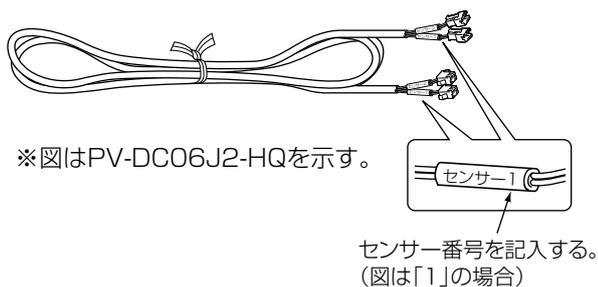
## 同梱部品

- 電流センサー
- 電流センサー用接続ケーブル (1個用)
- コードバンド
- 電流センサー用接続ケーブル (2個用)

名 称	PV-DC06J1-HQ	PV-DC06J2-HQ
電流センサー	1 個	2 個
電流センサー用接続ケーブル (1 個用)	1 本	—
電流センサー用接続ケーブル (2 個用)	—	1 本
コードバンド	1 本	1 本

## 据付方法

### 1. 据付け前の準備



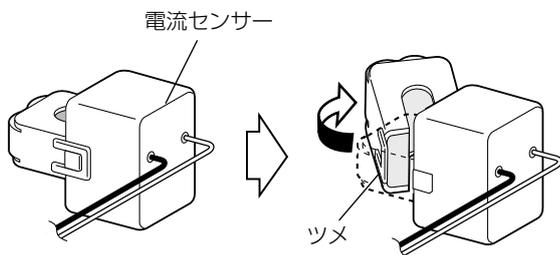
### 電流センサー用接続ケーブルのラベルにセンサー番号を記入する

電流センサー用接続ケーブルの両端にあるラベルにセンサー 1、センサー 2 (PV-DC06J2-HQ のみ) などと記入する。

#### お願い

- PV-DC06J2-HQ の場合は、ケーブルの色が同じラベルに同じセンサー番号を記入してください。

### 2. 電流センサー用接続ケーブルの配線



### 1 電流センサークランプ部のツメをはずして開く

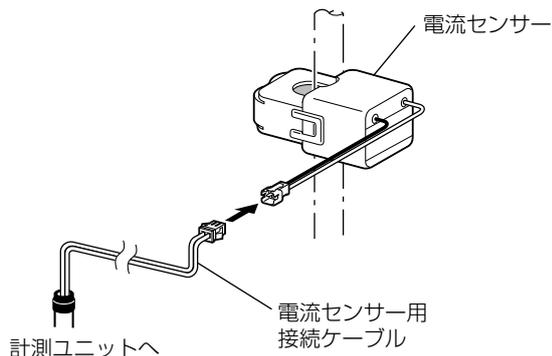
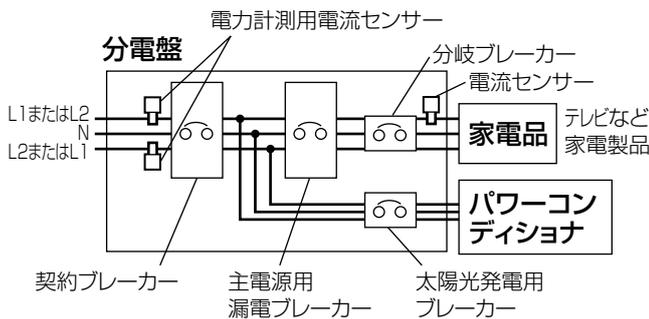
#### お願い

- 電流センサーは外径φ 6mm 未満の電線の真っすぐな部分に取付けてください。
- φ 6 mm以上の太い電線や曲がった部分に無理に取付けると、正しく電流を検出できなくなります。

### 2 分電盤内の負荷側に電流センサーを取付ける

※ PV-DC06J1-HQ は電流センサーを 1 個、PV-DC06J2-HQ は電流センサーを 2 個追加する場合に使用します。

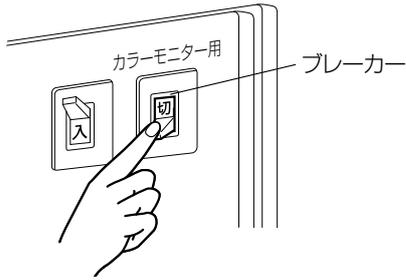
- 電流センサーを取付ける際は、被覆部にクランプしてください。(裸銅線はクランプしないでください)
- 電流センサーを取付ける際、クランプ部を「カチッ」と音がするまでしっかりロックしてください。
- クランプ部に異物をはさまっていないことを確認してください。



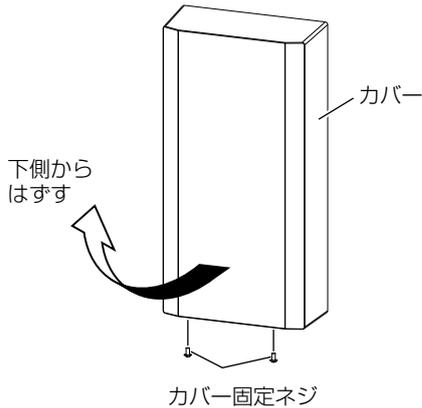
### 3 電流センサーと付属の電流センサー用接続ケーブルを接続する

- ラベルのセンサー番号を確認して、電流センサー用接続ケーブルの保護チューブがない方のコネクタと電流センサーを接続してください。

### 3. 計測ユニットとの接続



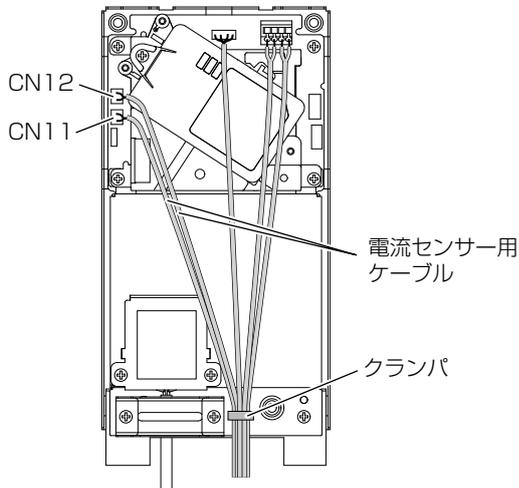
- 計測ユニットに電流センサーを接続します。
- 設置してあるパワーコンディショナ、外部発電機の電源を「切」にしてください。
- 分電盤のカラーモニター用ブレーカーを「切」にしてください。



#### 1 計測ユニット下面のカバー固定ネジ2本をはずし、カバーをはずす

- カバーを下側からはずしてください。

※カバーをはずした内部図



#### 2 計測ユニット本体のCN11、CN12に電流センサー用接続ケーブルを接続する (詳しくはHQ-D-M06の据付工事説明書をご覧ください)

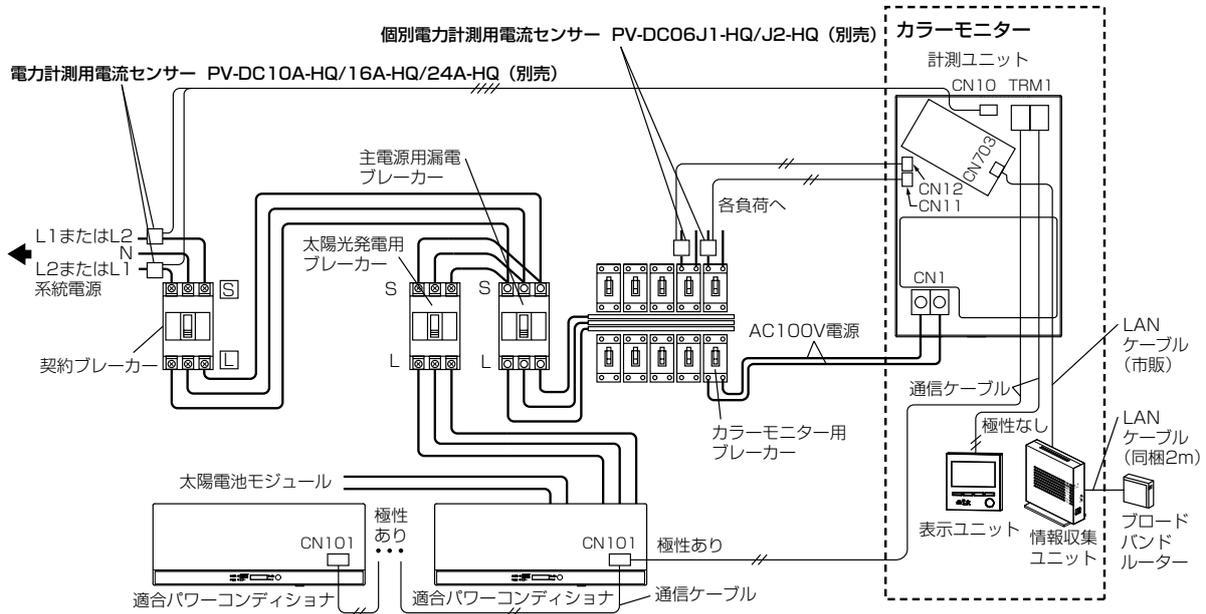
#### 3 図のように、各コネクタに接続したケーブルをクランパでしっかりとまとめ、計測ユニットのカバー固定ネジ2本でカバーを取付ける

## 4. 機器接続設定

カラーモニター本体の据付工事説明書に従って、機器の設定をする

### カラーモニターと太陽光発電システムの構成例

- パワーコンディショナを契約ブレーカーのL側に接続した場合。



## 故障かな？と思ったら

症状	原因・処置	
消費電力の数値がおかしい	電流センサーが付いていない	電流センサーのクランプがしっかりとロックされているか確認してください。
	電流センサーの取付け位置が間違っている	各負荷の個別ブレーカーの負荷側に付いているか確認してください。
	パワーコンディショナとの通信ができていない	適合パワーコンディショナ通信用ケーブルの接続を確認してください。
	機器接続設定ができていない	カラーモニター本体の据付工事説明書に従って、機器接続設定を行ってください。
	電流センサーに異物がはさまっている	異物を取り除いてください。